



# 「被災者支援」から「地域福祉」を目指して

## 被災者支援からみえた地域福祉に取り組む

近年、様々な要因から複雑な生活課題を抱え、生活困窮に陥る（おちいる）方々が増加しています。来年度からは、生活保護に至る前に包括的に支援を行えるよう、生活困窮者自立支援法が施行され、各種事業が実施されます。今号では、法施行に先立ち実施されている生活困窮者自立促進支援モデル事業の自立相談支援事業を受託している、東松島市社会福祉協議会（以下「東松島市社協」）「東松島市生活支援相談センター」（以下「センター」）を紹介いたします。

### 被災者支援からみえたもの

東松島市社協では、東日本大震災後、地域福祉復興計画を策定し、先を見据えた社協活動を展開し被災者支援に向き合ってきました。孤立・生活不安など、



「気になるな」を大切に、「何かあればここに」と思ってもらえるよう、「ひとりじゃない」関係づくりを目指し、相談者に寄り添い一緒に考えます。

被災者は生活に課題を抱える場合が多く、被災者支援は生活困窮者の支援と重なる部分が多いとの認識から、平成26年4月にセンターを開所しました。相談窓口では、住民の生活や仕事などの悩みに対し、寄り添い一緒に考えながらプランを立てるため、相談支援員3名を専任で配置し、生活福祉資金相談員2名とともに、相談支援に取り組みんでいます。

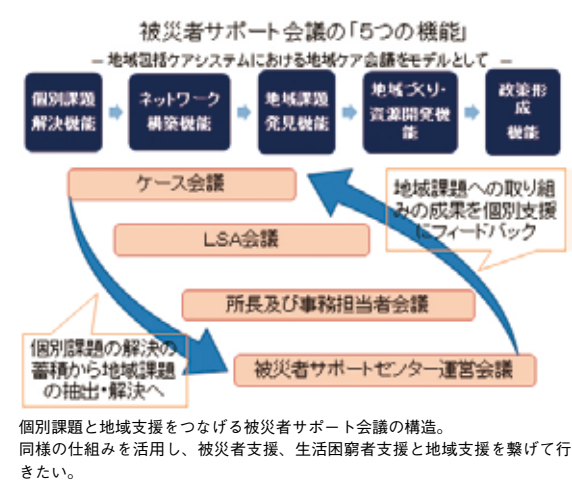
### アウトリーチの最前線から

「仮設住宅を訪問（アウトリーチ）している『訪問支援員』は被災者の課題を把握する最前線です。」と話すのは企画・調整担当の阿部誠主任。対応が遅くなるほど生活困窮者の課題は深刻化します。現在は生活福祉資金貸付制度と一体での相談が中心ですが、次のステップとして、訪問支援員が発見した

課題がセンターへ繋がる体制を目指し、まずは訪問支援員をコーディネートする※LSA等の関係者が集まるLSA会議へ、相談支援員が参加することから始めています。社協内の体制や基盤・連携等を徐々に強化し、将来的には地域住民が発見した課題がセンターへつながるような仕組みの構築を目指しています。

### 相談者と包括的に向き合って

「相談者の課題は様々な問題が複合的に絡み合っており、一箇所につなぐだけで、全てが解決するわけではありません。相談者及びその家族の状況を包括的に把握する必要性を感ずりました。」と話すのは、主任相談支援員の桜田千里さん。相談窓口自体が何かを解決する場ではなく、相談者に寄り添い



個別課題と地域支援をつなげる被災者サポート会議の構造。同様の仕組みを活用し、被災者支援、生活困窮者支援と地域支援を繋げていきたい。

### 一歩一歩目指すもの

生活困窮の背景には、人とのつながりの希薄化があげられます。そのため地域全体で相談者を支える仕組みづくりが必要であり、地域福祉を推進する社協の大きな役割とも言えます。東松島市社協では、震災を契機に社協の役割を一から見直し、試行錯誤しながら、組織の体制やネットワークづくりなど基盤構築に取り組みんでいます。被災者支援を入口に、誰もが共に支え合う地域づくりを目指し、出来ることから一歩ずつ取り組んでいる東松島市社協の今後の活動に期待します。

※LSA（生活支援相談員）…訪問支援員のコーディネート、個別相談への対応、関係機能との連携・調整を行う。

## キラリ★ 仕事人

今号では、公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター 気仙沼地域センターで地域支援課長（精神保健福祉士・社会福祉士）として働く、片柳光昭さんにお話を伺いました。



「このお仕事をされてどのくらいですか。」  
みやぎ心のケアセンターが全面的に稼働し始めたのが平成24年4月になります。私は1ヶ月前の3月から勤務を始めました。

「現在はどのようなお仕事をされていますか。」  
心のケアセンターは仙台の基幹センター、石巻地域センター、気仙沼地域センターがあり、私は今年度から気仙沼の方で被災された住民や、被災された方々の支援をする方（支援者支援）のメンタルヘルスケアを行っています。

「今のお仕事を始めたきっかけは何ですか。」  
以前（震災当時）は、横浜の精神科デイケアに勤務していましたが、時間が経つにつれ、徐々にテレビの中だけの出来事になり、震災という出来事が自分の住む世界から遠くなってしまふ様に感じたことが一つ理由としてあります。デイケアでの勤務が長かったということもあってデイケア以外の所

でも勤務してみたいと思っていた時に御縁があつて現在の仕事に就きました。

### 今のお仕事のどんなところがやりがいを感じますか。

私たちは、市や町の保健師さんと連携しながら依頼を受けて、日々地域に出掛け、仮設住宅に住む方々や支援者の方々と話し、精神的な健康の状態を確認したり、健康度を高めていくためのお手伝いをしています。お話を聞くという作業で、すぐに大きく何かが変わるわけではないので、そういった点でやりがいは感じにくいですが、依頼頂いたお仕事をしっかりとやり遂げられた時にはやりがいを感じますね。

### 大変だと感じることはどんなことですか。

どうすれば、心のケアセンターの役割を、地域の方々により理解していただき、身近に感じていただけるかと、日々考えることは、大変だと思えます。

### 仕事をやる上で心がけていることは何ですか。

自分は何も出来るわけでもありませんし、何を知っているわけでもないので、支援で入る。地域の方々に教えて頂く。という姿勢で居続けることを心掛けています。